

令和5年度 医師派遣調整に係る医師派遣要望調査票【作成要領】

【調査対象】

- 第7次保健医療計画に位置付けられる5疾病・5事業のうち、「がん、脳卒中及び心血管疾患」並びに「救急医療、周産期医療及び小児医療」の機能を担う茨城県内の病院 計71病院（※別紙1参照）

【調査基準日】

- 令和5年4月1日現在

【調査票】

- 調査票（総括表）は、各地域医療構想調整会議において作成してください。
- 調査票（個票①）は、調査対象の全71病院が作成してください。
- 調査票（個票②）は、調査票①の間1－(3)において派遣要望を行う医療機関のみ、作成してください。

【作成上の留意事項】

<共通>

- 短時間正規雇用と非常勤は常勤換算の上、記載してください。常勤換算の算出方法は、当該医師の1週間の勤務時間を、各病院で定める通常の1週間の勤務時間で除し、小数点以下第2位を四捨五入の上、記載してください。
- 病院・診療科ごとの医師数については、総括票と個票とが一致しているか確認してください。
- 集計の都合上、行の追加は行わないでください。（ただし、調査票（総括票）問2を除く）

<調査票（総括表）>

- 問1については、第8次保健医療計画において記載予定の内容との整合性に留意すること。
- 問2において、要望人数を「1/2人補正」することが可能な医療機関は、以下のとおりとします。
※1/2人補正は、要望する政策医療分野と一致する場合のみ可能です。

が	ん	県地域がんセンター、県小児がん拠点病院			
脳	卒	中	脳血管内手術に終日対応している病院		
心	血	管	疾	患	心血管内手術に終日対応している病院
救	急	救命救急センター			
周	産	期	総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター		
小	児	救	急	小児救急中核病院、地域小児救急センター	

- 補正対象のある医療圏においては、補正後の合計人数が4人以内であれば要望可能です。
- 要望上限枠を医療圏間で融通できるのは、原則、隣接する二次保健医療圏間とします。
- 上限枠を融通し合った場合は、情報把握のため問2(2)に必要情報を記載してください。
- やむを得ない理由により上限を超えて要望する場合は、必ず「優先順位」を記載して下さい。なお、空欄又は同順位は不可といたします。

<調査票（個票①）>

- 該当する診療科がない場合は、読み替えが可能な最も近い診療科名を選択してください。なお、読み替えが困難な場合には、「その他」に計上し、()に診療科名を記入してください。
- 複数の診療科に従事している医師がいる場合は、そのうちの主たる従事先の診療科にのみ、当該医師の全ての勤務時間を計上してください。
- 臨床研修医は、本調査の対象外のため、計上しないでください。
- 問1(2)については、今後1年間で増員（または減員）の計画があればその見込み医師数及びその理由を記入してください。 ※問1(3)の人数は含まないでください。
- 問1(3)において、令和5年度に大学等からの派遣を要望する医師数については、病院が担うべき診療機能を果たすため、なお、医師派遣を希望する病院が担う5疾病5事業のうち、「がん、脳卒中及び心血管疾患」並びに「救急医療、周産期医療及び小児医療」の機能を果たすため、「(1)現員医師数＋(2)増員(減員)医師数」に追加して確保する必要があり、かつ、令和5年度に大学等からの派遣を要望する医師数のみを記入してください。また、派遣要望医師数のうち専攻医等の派遣でも可能な数及び派遣元(大学等)の希望がある場合にはその名称を記入してください。
- 問2については、専門研修が可能な場合に「○」を記入してください。
- 問2の施設区分欄には、基幹施設と連携施設のいずれかにまたは両方に○を記載し、連携施設の場合は、連携先の基幹施設名を記載してください。
- 問3については、貴病院が担う5疾病5事業のうち、「がん、脳卒中及び心血管疾患」並びに「救急医療、周産期医療及び小児医療」の機能（※別紙2参照）に係る全ての関連診療科について、主たる診療科に「◎」を、その他関連する診療科に「○」を記入してください。（※複数回答可）

<調査票（個票②）>

- (b.) 同一病院において複数診療科の医師派遣を要望される場合は、個票②を診療科単位で作成してください。
- (d) (e) (i) 理由・根拠・効果は、具体的なデータを用いるなど、医師派遣の必要性等が客観的に分かるように記載してください。
- (f) 基本領域のうち内科・外科については、派遣を要望する診療科であるサブスペシャリティ領域まで研修可能である場合にのみ、「可」に○を付してください。
- (i) 効果については、医師派遣後の各患者等数から読み取れる効果を記載してください。
- (i) ⑦には、①～⑥以外で参考となる指標があれば記載してください。

【その他】

- 医師の派遣については、各病院から提供されたデータに基づく要望理由や根拠等を踏まえ、地域医療対策協議会で必要性等を認められたもののみ、大学等に要請する予定ですので、要望に添えない場合があります。あらかじめ御了承ください。

【回答提出先】茨城県保健医療部医療局医療人材課 医師確保グループあて
E-mail: idoctor@pref.ibaraki.lg.jp

【回答者情報】

二次保健医療圏 _____
担当科所属 _____
担当医師氏名 _____
電話番号(内線) _____
Eメールアドレス _____

色付きのセルに入力してください。

令和5年度医師派遣調整に係る医師派遣要望調査

問1 地域医療構想調整会議における議論の状況について

(1) 茨城県地域医療構想(平成28年12月策定)における二次医療圏内の政策医療の現状及び課題

--

(2) その後の調整会議における議論や社会情勢の変化等により新たに生じた課題等(医療機関の開設・閉鎖・統合、新興感染症、災害、都市計画、人口減少、少子化、高齢化、公共交通等)

--

(3) 上記の課題に対する医療圏としての対応方針、医療機能の拠点化・集約化に向けた今後の方向性

--

(4) 課題解決に向けた各政策医療分野における各医療機関の拠点化・集約化・役割分担・連携・機能分化の方向性

政策医療分野	医療機能の拠点化・集約化、各医療機関の役割分担・連携・機能分化の方向性 ※機能強化する医療機関についてのみでなく、それに伴う他の医療機関の対応についても記載願います
がん	
脳卒中	
心血管疾患	
救急医療	
周産期医療	
小児救急医療	

問2 医師派遣要望について

(1) 問1を踏まえ、医療圏としてR5年度に医師派遣が必要な病院・診療科・医師数及び医師派遣が必要な理由を記載してください。

医療圏全体の具体的なデータに基づき、医師派遣の必要性が客観的にわかるように記載してください。なお、理由記載にあたり使用する数値データ等の引用元を「参考資料」の欄に記載のうえ、調査票とともに提出してください。

※補正後の要望人数が4人以内、かつ、診療科の重複は不可。

病院名	診療科 ※フルダウで選択 (その他を選択した場合は 自由記載欄に科名を記載)	政策医療分野 ※フルダウ選択	医師数					医師派遣が必要な理由	参考資料
			R5.4.1 現員数	年度内増減 予定人数	派遣要望 a	補正対象 (該当に0)	補正後 b=a×1/2		
合計								4人以内であること(医療圏間での融通があった場合はこの限りでない)	

(2) (1)において、医療圏間で上限枠を融通し合った場合は、その対象となる情報を記載してください。

融通し合った医療圏名 融通し合った人数※ ※上限枠を増した場合は整数を、減した場合は負数を記載してください。

--	--

(3) (1)のほか、やむをえない理由により上限人数を超えるまたは診療科が重複する要望について、病院名、診療科、医師数、要望の優先順位及び医師派遣が必要な理由(上限を超える又は診療科が重複する理由も含む)を記載してください。

医療圏全体の具体的なデータに基づき、医師派遣の必要性が客観的にわかるように記載してください。なお、理由記載にあたり使用する数値データ等の引用元を「参考資料」の欄に記載のうえ、調査票とともに提出してください。

※優先順位が付いていない要望は不可。

病院名	診療科 ※フルダウで選択 (その他を選択した場合は 自由記載欄に科名を記載)	政策医療分野 ※フルダウ選択	医師数			優先順位	医師派遣が必要な理由 (上限人数を超える又は診療科が重複する理由も含む)	参考資料
			R5.4.1 現員数	年度内増減 予定人数	派遣要望 a			

※自由記載欄(その他、または表に記入できない場合)

--

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票(個票②)【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a. 要望医療機関名				担当者	所属	連絡先	電話				
				氏名		Mail					
b. 派遣を求めめる診療科	〇〇内科	R5.4.1時点の医師数(人)	常勤	自院での採用(人)	大学等からの派遣(人)	派遣元の内訳	〇〇大学2、〇〇大学1				
			非常勤			派遣元の内訳	〇〇大学0.2、〇〇大学0.2				
c. 派遣要望人数	常勤	希望する医師のクラス等 ※該当に〇	専攻医クラス	派遣医師に求める 資格、技術等							
	非常勤		専門医クラス								
d. 要望の主なる目的 ※該当に〇	減員補充	具体的な要望理由、 派遣の必要性	※具体的なデータを用いるなど、医師派遣の必要性が客観的に分かるように記載してください。								
	体制強化										
	拠点形成										
	その他										
e. 要望人数の根拠	※具体的なデータを用いるなど、要望人数の根拠が客観的に分かるように記載してください。										
f. 専門研修の可否 ※内科・外科はサプスベ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に〇	可(基幹施設)	主な連携施設名									
	可(連携施設)	基幹施設名									
	可(関連施設)	基幹施設名									
	不可	今後の予定	プログラムを作成中	指導医を確保・養成中	プログラムの作成予定なし	備考					
g. 取得可能な資格											
h. 派遣医師の具体的な業務											
i. 医師派遣による効果	※以下の医師派遣後の見込みから読み取れる効果(医療圏外や県外へ流出が大きい等)を記載してください。										
	H30	R元	R2	R3	R4	派遣後の見込	左の根拠				
① 外来患者数											
うち要望診療科関係											
② 入院患者数											
うち要望診療科関係											
③ 救急搬送件数											
うち要望診療科関係											
④ 救急お断り件数											
うち要望診療科関係											
⑤ 手術件数											
うち要望診療科関係											
⑥ 医師1人あたり時間外労働時間											
うち要望診療科関係											
⑦ ()											
⑧ その他、診療体制等	(例) ・〇〇医療圏には△△疾患について休日夜間に対応している医療機関はないが、現在の3名体制に1名加わった4名体制となることで、2名×2チームを構築でき、24時間の診療が可能となる。 ・当院に1名増員されることにより、★★疾患について複数病院での輪番体制を構築することが可能となる。 ・△△疾患については現在1名加わることにより、〇〇など、より高度で低侵襲の治療が可能となる。										
j. 自院での医師確保の取組状況 ※該当に〇	①HPやハローワークへの求人広告掲出				経過、 現状等	例) R元年度の★★大学の派遣引き上げ以降、〇〇大学に毎年病院長が派遣を依頼しているが、医局の人員がいらないとの理由から派遣に至っていない。 例) 病院長の出身大学である●●大学に、寄付講座の開設も含め交渉しているが、◆◆の理由から頓挫					
	②派遣元大学医局への派遣依頼										
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ										
	④その他										
k. 看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画											
l. 手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画											
m. 他の診療科との連携体制											
n. 雇日直許可の取得状況 ※該当に〇	取得済	取得日									
	取得予定	取得予定日及び連携状況									
	取得予定なし	理由等									
o. 特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に〇	なし(A水準)			申請の 進捗・連携状況 ※該当に〇及び日付等 を記載 【A水準以外】	【共通】医師の労働時間短縮計画作成		【共通】評価センターの評価受審		【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査		
	特定地域医療提供機関(B水準)				作成済	作成日	申請済	申請日	申請済	申請日	
	連携型特定地域医療提供機関(連携B水準)				作成中	完成予定 時期	申請 準備中	申請予定 時期	申請予定	申請予定 時期	
	技能向上集研修機関(C-1水準)										
特定高度技能研修機関(C-2水準)											
p. 生活環境 ※該当に〇	宿舍の有無	専用宿舎(敷地内)			宿舎の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能な数等					その他の 生活環境 支援	
		専用宿舎(敷地外)									
		借上宿舎									
		住宅手当									
		その他									
なし											
q. 子育て支援 ※該当に〇	院内保育所	あり			院内保育所等 ※該当に〇	院内保育所等対応				その他の 子育て支援	
		系列保育園				ベビーシッター等利用料の補助					
		その他				その他					
なし											
r. その他の福利厚生											
s. 派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考		
	(例) 消化器内科部長	消化器内視鏡指導医	1,500万円(手当含む)	8:30~17:00	有 2回/月	有 2回/週	週5日	日曜/祝日	赴任手当、住居手当、学食参加費等		
t. 派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容			給与	交通費	備考		
	(例) 月、水、金	日勤(終日)	9:00~17:00	外来、病棟管理			100,000円/回	別途支給	週2~3日の勤務希望、分割(AM-PM)勤務可		
u. 自由記載											

調査は以上です。御協力ありがとうございました。